



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年1月31日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9362 URL <https://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 慶治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 梅崎 慎一

TEL 078-940-2351

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,510		620		699		482	
2024年3月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	403.86	
2024年3月期第3四半期		

(注)2024年3月期第3四半期は連結業績を開示していましたが、2024年3月に連結子会社を清算終了したことにより、2024年3月期末より非連結での業績を開示しております。そのため、2024年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	13,003	4,885	37.6	4,082.35
2024年3月期	12,939	4,609	35.6	3,873.25

(参考)自己資本 2025年3月期第3四半期 4,885百万円 2024年3月期 4,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				130.00	130.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				115.00	115.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2025年1月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.3	570	9.7	640	5.7	440	14.1	368.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2025年1月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2.(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,224,000 株	2024年3月期	1,224,000 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	27,146 株	2024年3月期	33,849 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	1,194,224 株	2024年3月期3Q	1,187,836 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、雇用・所得環境が改善され個人消費に持ち直しの動きが見られ、更にはインバウンド需要の拡大効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰による物価の上昇、不安定な為替相場に加え、中国経済への懸念、地政学的リスクなど海外情勢の影響もあり、依然として先行は不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、国民生活と企業活動のライフラインを支える物流業者として、如何なる時世にも顧客に対する輸送責任を果たす「堅実な兵機」との信頼を得るべく、事業展開を進めてまいりました。

当第3四半期累計期間におけるセグメントの営業状況は以下のとおりであります。なお、当社は、2024年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2024年3月に子会社を清算終了したことに伴い、2024年3月期末より非連結での業績を開示しております。そのため、前年同期比は記載しておりません。

①海運事業

内航事業では、主要貨物である鋼材輸送において、一部メーカーの施設改修に伴う出荷休止の影響もあり輸送量が減少しましたが、台船によるプラント輸送や自社の船を効率的に運航できる飼料・油糧の輸送案件が堅調に推移しました。また、燃料油の高止まり等コストの上昇もありましたが、主要荷主に対し運賃改定等の対応を行いました。その結果、売上高は5,176百万円となり、営業利益は331百万円となりました。

外航事業では、中国向けの建機・機械類の輸送獲得に注力するとともに、荷主のニーズに合わせた、韓国、台湾を主とした近海航路での輸送を中心に営業展開を行いました。また、前期に所有船舶を売却したことにより船舶の維持管理コストがなくなったことも収支の改善に繋がりました。その結果、売上高は1,240百万円となり、営業利益は212百万円となりました。

②港運・倉庫事業

港運事業では、中国経済の停滞により、中国発着貨物の取扱は減少したものの、輸入では食品類や雑貨類、輸出では化学品や素材関連の取扱が順調に推移し、ODA案件を始めとする既存荷主以外からのスポット輸送の受注もあり、通関件数は前年度並みに推移しましたが、管理経費の増加が利益の縮小要因となりました。なお、取引形態の見直しにより、輸出入者の依頼に応じて船会社に支払っていた各種費用について、2023年10月以降は立替金として請求することとした影響により売上高は減少しました。その結果、売上高は2,832百万円となり、営業利益は49百万円となりました。

倉庫事業では、神戸及び姫路地区の危険物倉庫については、既存荷主の作業収入が堅調に推移したことに加え、集荷営業を強化したことが功を奏し、ISOタンクコンテナの保管収入が伸長しました。一方、普通品倉庫では、作業収入・保管収入とも前年度並みの推移に留まりました。また、費用面で設備機材の償却負担増や労務費の上昇が利益を押し下げました。その結果、売上高は1,260百万円となり、営業利益は27百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高10,510百万円、営業利益620百万円、経常利益699百万円、四半期純利益482百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は13,003百万円となり、前事業年度末と比較して64百万円増加いたしました。

流動資産は4,347百万円となり、前事業年度末と比較して369百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加229百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加82百万円等によるものであります。固定資産は8,655百万円となり、前事業年度末と比較して305百万円減少いたしました。これは主に、建物付属設備、車両運搬具及びソフトウェア等を取得したことによる増加73百万円等に対して、減価償却による固定資産の減少302百万円、投資有価証券の時価の下落等による減少98百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は8,117百万円となり、前事業年度末と比較して211百万円減少いたしました。

流動負債は3,805百万円となり、前事業年度末と比較して363百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少350百万円、賞与引当金の減少81百万円等に対して、未払法人税等の増加84百万円等によるものであります。固定負債は4,312百万円となり、前事業年度末と比較して151百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加176百万円、退職給付引当金の増加12百万円等に対して、その他に含まれる繰延税金負債の減少27百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,885百万円となり、前事業年度末と比較して276百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払による利益剰余金の減少154百万円、その他有価証券評価差額金の減少68百万円等に対して、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加482百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は37.6%となり、前事業年度末と比較して2.0ポイントの上昇となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、本日（2025年1月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,043	2,272
受取手形、売掛金及び契約資産	1,455	1,538
原材料及び貯蔵品	25	37
前払費用	35	52
その他	422	450
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	3,978	4,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備（純額）	3,109	2,998
構築物（純額）	220	198
機械及び装置（純額）	16	12
船舶（純額）	603	553
車両運搬具（純額）	57	28
工具、器具及び備品（純額）	20	23
土地	2,566	2,566
リース資産（純額）	38	35
有形固定資産合計	6,633	6,416
無形固定資産		
借地権	4	4
電話加入権	9	9
施設利用権	0	0
ソフトウェア	19	17
リース資産	27	17
無形固定資産合計	60	48
投資その他の資産		
投資有価証券	2,154	2,055
関係会社株式	20	20
長期貸付金	15	28
長期保証金	34	34
その他	60	69
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	2,266	2,190
固定資産合計	8,960	8,655
資産合計	12,939	13,003

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,157	1,133
短期借入金	2,532	2,181
未払法人税等	46	130
賞与引当金	161	80
その他	270	278
流動負債合計	4,168	3,805
固定負債		
長期借入金	3,303	3,479
退職給付引当金	494	506
船舶修繕引当金	9	15
その他	354	310
固定負債合計	4,161	4,312
負債合計	8,329	8,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	2,832	3,156
自己株式	△72	△57
株主資本合計	3,405	3,743
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,198	1,129
繰延ヘッジ損益	6	12
評価・換算差額等合計	1,204	1,142
純資産合計	4,609	4,885
負債純資産合計	12,939	13,003

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,510
売上原価	8,411
売上総利益	2,099
販売費及び一般管理費	1,479
営業利益	620
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	84
その他	24
営業外収益合計	109
営業外費用	
支払利息	27
その他	2
営業外費用合計	30
経常利益	699
特別利益	
受取保険金	2
特別利益合計	2
特別損失	
災害による損失	6
特別損失合計	6
税引前四半期純利益	695
法人税、住民税及び事業税	213
法人税等合計	213
四半期純利益	482

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）については連結業績を開示していたため、記載しておりません。

当第3四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計 (注)
	海運事業	港運・倉庫 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,417	4,093	10,510
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—
計	6,417	4,093	10,510
セグメント利益	543	76	620

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

前第3四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）については、連結業績を開示していたため、記載しておりません。また、当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	302百万円